

令和5年度第2回熊本県地域年金事業運営調整会議 議事要旨

開催日時：令和6年2月26日（月） 14：00～16：00

開催場所：KKR ホテル熊本

出席者：委員10名

日本年金機構11名

1. 開 会 熊本東年金事務所副所長
2. あいさつ 熊本東年金事務所長
3. 委員紹介
4. 議事
 - 議題 1 「令和5年度事業実施結果中間報告」について
 - 議題 2 「令和6年度事業計画（案）」について
5. その他
 - ・「わたしと年金」エッセイ入賞作品の紹介

【資料】 令和5年度第2回熊本県地域年金事業運営調整会議資料

【事業概況説明】 議事の前に資料に基づき地域年金展開事業の概要について事務局より説明。

【議題1】 事務局より資料に基づき令和5年度事業実施結果中間報告について説明。（概要は下記のとおり）

- ・地域連携事業として市町村・官公庁、社会保険労務士会、全国健康保険協会、社会保険協会、社会保険委員会、年金協会、自治体・町内会等及び企業・団体等との協力連携の現状と今後の取組課題について説明。
- ・年金セミナー事業として教育機関へのセミナーの周知及び実施状況、地域年金推進員の活動状況について現状と今後の取組課題について説明。
- ・地域相談事業として遠隔地の市町村での出張年金相談の実施状況、ハローワークでの説明会実施状況について現状と今後の取組課題について説明。
- ・年金委員活動支援事業として実務研修会の実施状況、情報提供（各種啓発資料の送付）の実施、年金委員委嘱拡大に向けた取組状況、年金委員表彰の実施状況について現状と今後の取組課題について説明。
- ・各拠点の取組みについて「ねんきん月間」及び「年金の日」における取組

等について現状と今後の取組課題について説明。

《令和5年度事業実施結果中間報告についてのご意見・ご要望・ご質問》

- （塵丘委員）昨年10月に熊本で開催した「南九州四県社会保険委員大会」の報告。各県とも社会保険委員会組織の存続が厳しい状況であり、役員は高齢化し、役員の選定も困難な状況であるとの意見が出ている。委員活動の活性化が必要であり、年金事務所と協会けんぽの協力をお願いしたい。
- （九州厚生局）まず、前回、当会議で「特別支援学校」への障害年金セミナー開催をお願いしたが、開催数が予想を上回り、反響に驚いた。ありがとうございます。

次に、地域年金展開事業で他県の好取組2事例を報告。

- ・宮崎県の大学キャンパス内にて年金事務所職員が学特（納付猶予の申請）受付や相談を行った。若い人に対して良い取組と思う。
- ・佐賀県の大学で、年金セミナーの際にマイナンバーカードとスマホを持参させ、「ねんきんネット」で自分の記録に未納がないか実際に確認させていた。話を聞くよりも効果が上がったようである。

【議題2】事務局より資料等に基づき令和6年度事業計画（案）を説明。

（概要は下記のとおり）

- ・市町村及び関係機関（ハローワーク、税務署等）との協力連携を図る。
- ・地域における相談事業（出張相談）と制度説明会（企業や団体の従業員）を実施する。
- ・年金セミナー事業について、セミナー開催アプローチを積極的に行い、オンラインセミナーも推進し、推進地域年金推進員の活用（学校訪問等）を行う。併せて、エッセイ募集への取組も積極的に行う。
- ・年金委員活動の活性化・地域型年金委員の委嘱拡大を積極的に行う。
- ・「ねんきん月間」及び「年金の日」における取組について、各年金事務所が創意工夫し、年金制度の普及・啓蒙活動を積極的実施する。

《令和6年度事業計画（案）についてのご意見・ご質問・ご要望》

- （委員長）地域型年金委員について、定年（年齢制限）はないとのことであるが、それでも成り手が少ないのか。
- ▶（事務局）現委員の高齢化もありますが、地域での活動が個人情報を扱うとなると、活動の幅も狭まり、何かモチベーションをあげるための工夫が必要となっております。
- （辻委員）関係団体（社会保険協会や社会保険委員会等）との協力連携について、上の人（課長、グループ長）以上は認識あるが、下の職員に行き渡っていない。地域年金展開事業の原動力は職員であるので、職員への意識づけをお願いしたい。
- （塵岡委員）前段でも言ったとおり、社会保険委員会組織の存続が厳しい状況。若い世代が活動できるよう、協力・支援を年金事務所と協会けんぽに切実をお願いしたい。

〈以上、各委員様よりご質問・ご意見・ご要望をいただき、今後の取組みに活かしていくこととし、全議題とも全委員様からご承認いただきました。〉

【その他】

- 「わたしと年金」エッセイ入賞作品の紹介
- 次回の地域年金事業運営調整会議は令和6年7月の開催を予定。